

～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

## ◆VCN°37 シャトー・ド・プラド

生産地方：ボルドー

新着ワイン2種類♪

### ACコート・ド・ボルドー・カスティヨン 2017 (赤)

前回 2021 年 3 月にリリースし、今回そのおかわりとなる 2017 年！2017 年はサンテミリオンが歴史的な霜の被害に遭った年。隣のカスティヨンにあるプラドの畑も、全体の収量が 30hL/ha と 40%減。特にメルローの収量が少なく、相対的にいつもよりもカベルネフランとカベルネソーヴィニヨンのアッサンブラージュ比率が高くなっている。前回から 1 年現地での瓶熟成を経たワインは、前回感じたピーツのような野趣あふれる土臭さ (Rustique : 田舎風) は少し和らぎ、瓶熟による良い落ち着きが出始めている！並行してテロワールから来る塩気のあるミネラルが味わいに出始めているので、今からあと数年の進化がとても興味深いワインだ！

### ACコート・ド・ボルドー・カスティヨン エルヴェ・アン・フュ・ド・シェーヌ (樽熟) 2017 (赤)

2017 年はサンテミリオンが歴史的な霜の被害に遭った年。隣のカスティヨンにあるプラドの畑も、全体の収量が 30hL/ha と 40%減。特に 2017 年はメルローの収量が少なく、相対的にいつもよりもカベルネフランとカベルネソーヴィニヨンのアッサンブラージュ比率が高くなっている。出来上がったワインはミディアムボディで酸にメリハリがあり、アルコール度数 13.3%とは思えないスマートさとヴィヴィッド感がある！加えて、鉄っぽい鉱物的なミネラルとキメの細かく繊細なタンニンの収斂味がワインに複雑な奥行きを与える！ベルナル日く、このワインこそボルドー名物のヤツメウナギの赤ワイン煮と合わせてほしいとのこと！

### ミレジム情報 当主「ベルナル・フルニエ」のコメント

2017 年は、サンテミリオン、カスティヨンを中心に広範に渡り歴史的な霜の被害に遭った年。冬のスタートは雨が多く暖冬で、メルローの芽吹きも例年より 3 週間早かった。芽吹きに勢いがついた矢先の 4 月 27 日にマイナス 5 度を下回る霜が降りた。早期に芽吹いたメルローはほぼ全滅。だが、その後副芽が出てくれたおかげもあって、辛うじてメルローの収量は 50%減で済んだ。一方、カベルネフランとカベルネソーヴィニヨンは晩熟品種だったこともあり、霜の被害は 20%程度で済んだ。その後は、雨の適度に降るベストな天候が続き、ブドウの開花も問題なく終わった。だが 6 月に入り、天候は一転、雨の降らない乾燥した天気が 9 月初めまで続いた。幸いにも夏に猛暑がなかったおかげで、ブドウは水不足に耐え得ることができたが、それでもブドウの房の大きさは例年よりも小さかった。このままで行くと収量は 60%~70%減となることを覚悟していたが、収穫の直前の 9 月 20 日に奇跡的に 3 日間に渡り計 50 mm の雨が降ってくれた。そのおかげで、干上がっていたブドウは一気に膨れ上がり、最終的に減収なりにもバランスの整った高品質なブドウを収穫することができた。

## 「ヨシ」のつ・ぶ・や・き

去年の10月23日、収穫が落ち着き秋も一段と深まるころにプラドを訪問した。これはプラドの裏庭から撮ったブドウ畑の写真。(写真①)目の前に広がる光景は、今まさに紅葉真っ盛りと言わんばかりの黄金色に彩られていて、あまりの美しさに思わず息を飲んでしまった。写真の手前は桃やサクランボなどの果樹園、そして奥に広がるのがメルローのブドウ畑。写真の腕が悪いので、実際の壮大な風景をうまく伝えきれていないのがとても残念だが、とにかくこの時期のブドウ畑の紅葉は、機会があればぜひ生で見てほしい価値ある光景だ。



(写真①) 黄金色に彩られ、美しいメルローのブドウ畑



(写真②) ロマンとベルナール プラド親子

せっかくだからと、紅葉の風景をバックにプラド親子の記念写真を撮った♪(写真②)左に写る好青年はベルナルの次男のロマン。現在33歳で二児のパパ。プラドでは17歳の時から働いているようだ。私自身2008年から毎年プラドを訪問しているが、実際に息子のロマンに会ったのは今回が初めて！かれこれ10年以上も訪問していて一度もすれ違うことがなかったのが不思議！そのことをロマンに伝えたと、彼は「現在パートナーの家に住んでいて、そこから直接畑に行くためほとんどすれ違うことがなかった」とのこと。今回あらためてお互いに初対面の挨拶を交わした。

彼のパートナーは、モンターニュ・サンテミリオンにあるCHÂTEAU ENCLOS DE BAYARDの令嬢で、現在彼女の家族と彼は一緒に住んでいるようだ。家族との関係は非常に良好だが、彼自身シャトーの仕事は一切関わっていない。理由は、彼女の父親であるシャトーのオーナーがBIOに対して全く理解を示さず後ろ向きだからだそうだ。

ベルナルも今年63歳を迎え、2年後の65歳には引退を考えている。去年の夏までは、まだロマンがプラドを継ぐかどうか不確かだったので、このままベルナルの代でプラドが終わる可能性もあった。だが、どうやら去年の収穫時にロマンが正式に継ぐという意味を示したようだ。

我々にとっても品質にこだわりながらも、コストパフォーマンスの高いプラドは、今やなくてはならないワインのひとつ！17歳から父ベルナルと働くロマンの今後の活躍には大いに期待したいところだ！

(2021.10.23.ドメーヌ突撃訪問より)

※弊社HP「フォト・ギャラリー」より、カラーでサイズの大きい鮮明な写真をぜひご覧くださいませ